

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

24年5月28日

愛知県知事 殿



提出者 愛知県西尾市寺津町四ノ割横道西10-1
株式会社 **やびき**
住所
氏名 代表取締役 **北本英昭**
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 やびき
事業場の所在地	西尾市寺津町四ノ割横道西10-1
計画期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	23: 非鉄金属製造業
②事業の規模	368,159万円
③従業員数	69人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

産業廃棄物の一連の処理の工程

廃砂	焼成後、再生砂として利用、一部ダストとして利用
電気炉スラグ	道路の路盤材として利用
ダスト	セメントの骨材として利用
廃炉材	埋め立て処分 ・ 今後、利用方法を検討中
廃プラ(混廃)	分別後、プラ・ガラス・砥石の材料として利用
木屑	破砕後、紙パルプの材料として利用
廃油	脱水・精製後、燃料として利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙添付資料参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラック
	排出量	4263.82 t	317.60 t
	(これまでに実施した取組) 排出時の分別教育.		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラック
	排出量	3837.44 t	285.84 t
	(今後実施する予定の取組) ○特に予定は無し. ○分別教育の徹底		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新入社員や未経験職員の社員に分別教育を行う
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃 砂	電気炉スラグ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無 し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃 砂	電気炉スラグ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 無 し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃 砂	電気炉スラグ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無 し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃 砂	電気炉スラグ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 無 し			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃砂	電気炉スラグ
	全処理委託量	4263.82 t	317.60 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	4263.82 t	317.60 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 分別教育を行い、全量再生利用可能とした。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃石砂	電気炉スラック
	全処理委託量	3837.44 t	285.84 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	3837.44 t	285.84 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への移行を 考えている。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙添付資料参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃プラ(混廃)
	排 出 量	1943.80 t	51.00 t
	(これまでに実施した取組) 分別教育の実施.		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	廃プラ(混廃)
	排 出 量	1749.42 t	45.90 t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新入社員や未属経馬の社員に分別教育を実施.
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガス	廃材(混廃)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガス	廃材(混廃)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガス	廃材(混廃)
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガス	廃材(混廃)
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガス	廃プラ(混廃)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガス	廃プラ(混廃)
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガス	廃プラ(混廃)
	全処理委託量	1943.80 t	51.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1943.80 t	51.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 分別教育を行い、全量再生 利 利用可能となる。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガス	廃プラ(混廃)
	全処理委託量	1749.42 t	45.90 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1749.42 t	45.90 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への移行を考えている。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙添付資料参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (23 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	排出量	33.00 t	13.83 t
	(これまでに実施した取組) 分別教育の実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	.	
	排出量	29.70 t	12.45 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし。 ・ 分別教育の徹底		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新社員や未経験者社員に分別教育を行う
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
無し			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
無し			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (23 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (23 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	全処理委託量	33.00 t	13.83 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	33.00 t	13.83 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 分別教育により全量再生利用可能と成る。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	廃油
	全処理委託量	29.70 t	12.45 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	29.70 t	12.45 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者への移行。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙添付資料参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (23 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃炉材	
	排出量	164.97 t	t
	(これまでに実施した取組) 分別教育の実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃炉材	
	排出量	148.47 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特ら無し。 ・ 再利の方法を考案中ですが、現状では無い。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新入社員や未経験社員に分別教育を実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特ら無し。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃炉材	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
			無し
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃炉材	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
			無し
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃炉材	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
			無し
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃炉材	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
			無し

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (23 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃炉材	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t
	(これまでに実施した取組) 無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃炉材	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	t
	(今後実施する予定の取組) 無し		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (23 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃炉材	
	全処理委託量	164.97	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0	t
	再生利用業者への処理委託量	164.97	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t
	(これまでに実施した取組) 処理業者と相談したが、用途が無く、現在全量埋立使用		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃炉材	
	全処理委託量	148.47	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0	t
	再生利用業者への 処理委託量	148.47	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用の用途を考之中.		
※事務処理欄			

3 産業廃棄物の処理に係る基本方針及び管理体制

産業廃棄物の排出抑制及び適正処理に係る基本方針

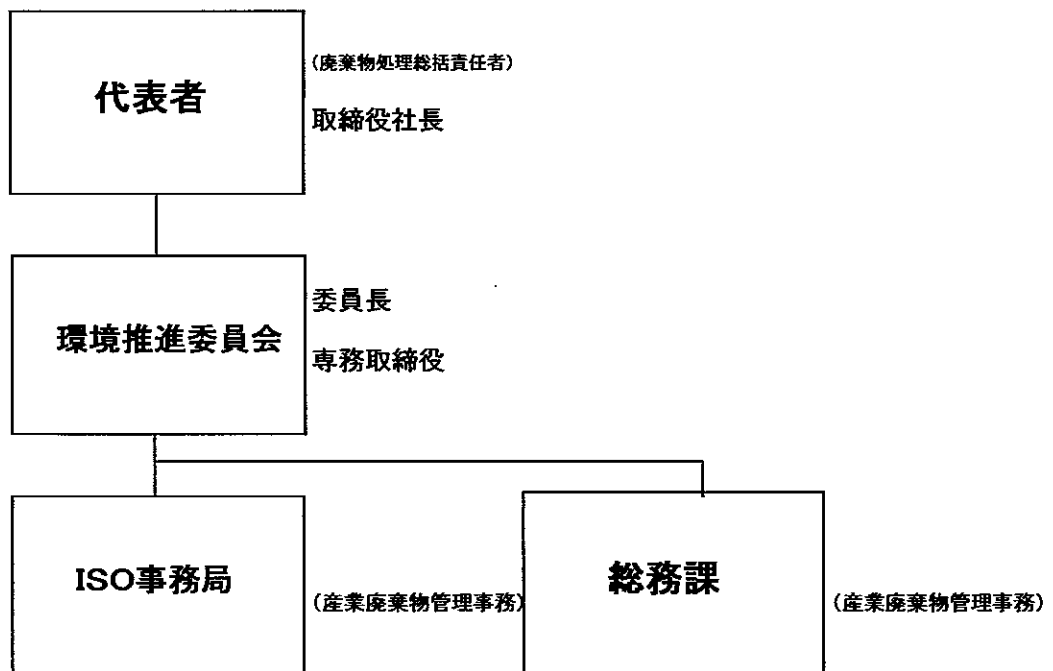
法令を遵守し適正に委託処理するとともに、マニフェストの適正管理を徹底します。

現場における廃棄物の分別を徹底します。

廃棄物保管場所を適正に管理します。

廃棄物の排出抑制及び適正処理について、従業員間のコミュニケーションの充実を図り、周知徹底します。

産業廃棄物処理に関する管理組織図



- (産業廃棄物処理責任者) 専務取締役
- (特別管理産業廃棄物管理責任者) 専務取締役
- (産業廃棄物処理施設技術管理者) 製造技術部長
- (マニフェスト管理者) 総務課 課長
- (産業廃棄物管理者) ISO事務局

(スローガン)

環境に優しい企業活動を実践しよう

(基本理念)

株式会社ヤマキは、原理・原則・原点主義のもと
『新しい価値を創造し続ける企業を目指して、社会に貢献します。』
という企業理念を貫き、企業活動を通じて環境保全に努め、
地域社会との共生を図ります。

(環境方針)

1. 環境保全と事業活動の両立を基本として、環境負荷の軽減を積極的に推進し、地域社会に貢献します。
2. 省エネルギー・省資源活動並びに廃棄物の削減とリサイクル化を展開し、環境マネジメントシステムの継続的な改善と汚染の予防に努めます。
3. 環境関連法規制及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
4. 環境目的・目標を設定し、その実現を図ると共に定期的に見直します。
5. 本方針は文書化し、当社及び当社のために働く人に周知徹底すると共に一般に公開します。

制定:2004/04/10

改定:2006/06/01

株式会社 ヤマキ

代表取締役社長 鈴木 英昭

- ・全従業員に対して、ISO14001に基づく教育を通じて、分別をする事による再生・再利用の教育を行っている。
- ・全溶解量を、高周波電気炉で行うようになり、電気炉スラグが主流になり、全量、下層路盤材として、全量再利用されるようになった。
- ・現在、廃砂・ダスト・電気炉スラグの3品は、全量再利用が可能となった。
- ・残る1品、廃炉材が再利用の方法が無く、検討中である。

産業廃棄物処理に関する情報公開

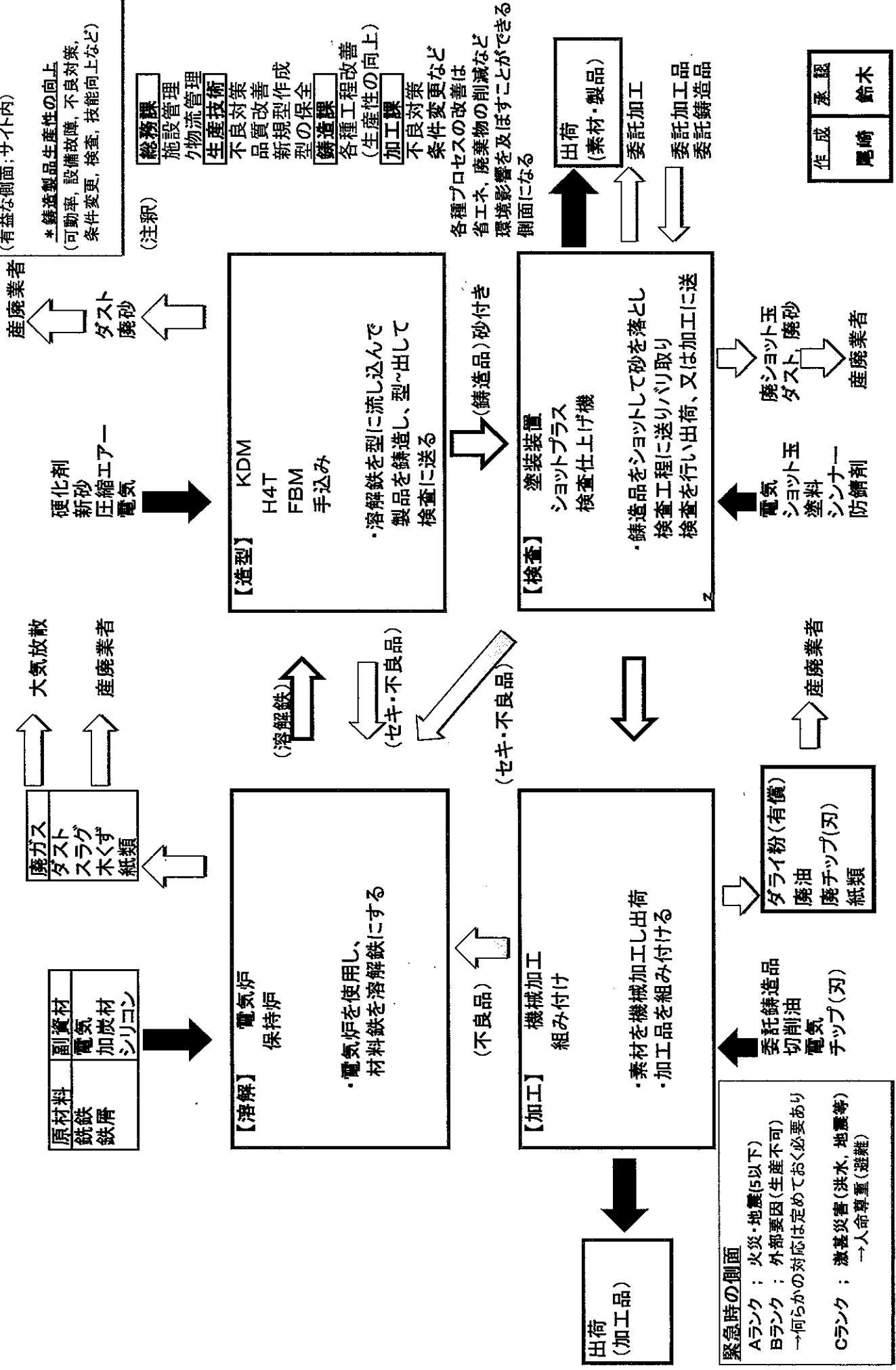
ISO14001環境マニュアルで定める外部公開は要求されない限り公開しない。

(要求があれば、公開する。)

業務活動フローと環境側面

環境影響を及ぼすことができる側面
(有益な側面：サイト内)

* 鑄造製品生産性の向上
(可動率, 設備故障, 不良対策, 条件変更, 検査, 技能向上など)



- (注釈)
- 総務課 施設管理 物流管理
 - 生産技術 不良対策 品質改善 新規型作成 型の保全
 - 鑄造課 各種工程改善 (生産性の向上)
 - 加工課 不良対策 条件変更など

各種プロセスの改善は
省エネ, 廃棄物の削減など
環境影響を及ぼすことのできる
側面になる

緊急時の側面

Aランク： 火災・地震(5以下)
Bランク： 外部要因(生産不可)
→何らかの対応は定めておく必要あり

Cランク： 激甚災害(洪水, 地震等)
→人命尊重(避難)

作	成	監
尾崎	鈴木	